

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

【製品情報】

製品名 セメコンスーパー
製品説明 特殊コンクリート(超早強モルタル)

【会社情報】

会社名 株式会社 ユニテック
住 所 大阪府大阪市西区立売堀3-5-12
担当部門 営業本部販売促進
担当者 加藤 久仁幸
T E L 06-6535-7730 F A X 06-6535-7740
整理番号 MC16-06

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高圧ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	区分外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自己発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

人健康有害性

急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:気体)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類対象外
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類対象外
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分1A
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器系)
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器系、腎臓)
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境有害性

水生環境急性有害性	分類できない
水生環境慢性有害性	分類できない

ラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

注意書き

危険
発がんのおそれ
呼吸器系、腎臓の障害（長期又は反復ばく露による）
多量に又は長期に渡り吸入すると肺に蓄積し、じん肺になる恐れがある。
【取扱い】
取扱い時には防塵マスク・保護眼鏡を着用し、飛散させないように慎重に取り扱う。
屋外又は換気の良い場所のみで使用する。
【応急措置】
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当て、診断を受けること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
目に入った場合、数分間注意深く洗うこと。目の刺激が続く場合は医師の手当て、診断を受けること。
吸引した場合は、新鮮な空気のところに移る。激しくせき込んだり呼吸困難な場合は医師の手当てで診断を受けること。
皮膚に付着した場合は多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激続く場合、医師の手当てで診断を受けること。
【保管】
乾燥した冷暗所に保管し、水分・湿気に注意し保管する。
容器包装材料について、特に規制されない。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
愛知県半田市

国・地域情報

3. 組成・成分情報

①化学名又は一般名 別名 成分及び含有量 化学式又は構造式 CAS No. 官報公示整理番号 分類に寄与する不純物 及び安定化添加物 濃度又は濃度範囲	結晶質-石英 (Crystalline silica, quartz) 石英 (Quartz)、結晶質二酸化ケイ素-石英 (Crystalline silicon dioxide, quartz) 主成分 二酸化ケイ素 80～90% SiO ₂ 14808-60-7 No.1-548 情報なし 情報なし
②成分及び含有量 CAS No. 官報公示整理番号	酸化マグネシウム10～20% 1309-48-4 No.1-465

4. 応急措置

吸引した場合 皮膚に付着した場合 目に入った場合 飲み込んだ場合	直ちに空気の新鮮な場所に移動し、症状の変化に伴い医師の診断を受ける。 直ちに多量の水で洗い流し、皮膚に炎症を生じた時は医師の診断を受ける。 直ちに多量の水で洗眼し、医師の診断を受ける。 直ちに清浄な水で口内を洗浄し、症状の変化に伴い医師の診断を受ける。
---	---

5. 火災時の措置

消火剤 特有の消火方法 消火を行う者の保護	この製品自体は燃焼しない。周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火作業の際は、周辺火災に応じて適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
-----------------------------	--

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、 眼、皮膚への接触や吸引を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 環境中に放出してはならない。漏洩物を掃き集めて空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	取扱い時には防塵マスク・保護眼鏡を着用し、飛散させないよう慎重に取り扱う。 屋外又は換気の良い場所のみで使用する。
保管	乾燥した冷暗所に保管し、水分・湿気に注意し保管する。 容器包装材料について、特に規制されない。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度	日本産業衛生学会 吸入性粉塵 $Q(\text{遊離珪酸分}) = 56\%$ $E(\text{許容濃度}) = 3.0Q / (1.19Q + 1) = 0.044\text{mg}/\text{m}^3$ ACGIH 石英 (TLV-TWA) $0.025\text{mg}/\text{m}^3$
設備対策 保護具	発塵場所では集塵装置または換気装置を備えて許容濃度以下にする。 防塵マスク(国家検定 RL2 以上を推奨)、保護眼鏡を着用し また状況により保護手袋、保護衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態・色	砂状・薄茶色
臭い	特になし
pH	6.5 ± 1.0
融点	約 $1,700^{\circ}\text{C}$
沸点	約 $2,200^{\circ}\text{C}$
引火点	なし
爆発特性	なし
密度(真比重)	約2.63
溶解性(水)	不溶性
分解温度	データなし
臭いのしきい(閾)値	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	データなし
燃焼性(固体、ガス)	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の手取り扱い条件(常温)では安定。
危険有害反応可能性	強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。 フッ化水素と反応する。
避けるべき条件	粉じんの拡散
混触危険物質	強酸化剤、フッ化水素
危険有害な分解生成物	現在知見なし

11. 有害性情報

急性毒性	経口:分類に適したデータが見つからず、データ不足のため分類できない。 経皮:データなし 吸入(粉じん):データなし 目に入った場合に痛み・異物感がある。
局所効果 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 慢性毒性	データなし データなし 区分外 多量に又は長期間に渡り吸入すると、じん肺になる危険性がある。 IARC68(1997)は1 (3)、NTPはK (6)、産衛学会勧告は1 (4) に分類しており、区分1Aとした。 発がんのおそれ:IARC グループ1(ヒトに対して発がん性がある) データなし
生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	反復ばく露に比べるとデータが大幅に少ないが、ヒトにおいても短期ばく露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼすとの記述 (2),(3),(5), がある。 IARC (3) はPriority 1文書であるため、区分1(呼吸器系)とした。 呼吸器系の障害
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	Priority 1文書に、ヒトにおいて呼吸器系、腎臓に影響を及ぼすとの記述があり (1),(3),(7)、区分1(呼吸器系、腎臓)とした。 長期又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害
吸引性呼吸器有害性	データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	データ不足のため分類できない
水生環境慢性有害性	データ不足のため分類できない

13. 廃棄上の注意

河川・海洋・下水・排水管等に流したり、投棄しないこと。
産業廃棄物処理認定業者に委託して処理すること。
国及び都道府県並びにその地方の法規・条例に従うこと。
これらの廃棄方法は、化学物質等(残余廃棄物)だけでなく
当該化学物質等が付着している汚染容器・包装にも摘要される。

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報 非危険物 航空規制情報 非危険物
国内規制	陸上規制情報 非該当 海上規制情報 非危険物 航空規制情報 非危険物
特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、荷崩れの防止を確実にこなう。

15. 適用法令

粉じん障害防止規則	<シリカ>
労働安全衛生法 第57条の2	< " >
労働安全衛生法 第101条 2項	< " >
労働安全衛生法施行令 第18条の2(別表第9)	< " >
じん肺法 第2条施行規則第2条別表粉じん作業	< " >

16. その他の情報

参考文献

(安全衛生情報センターHP参照)

- (1) CICAD24 (2000)
- (2) SITTIG (4th, 2002)
- (3) IARC68 (1997)
- (4) 産衛学会勧告 (2005)
- (5) DHP (13th, 2002)
- (6) NTP RoC (11th, 2005)
- (7) ACGIH-TLV (2005)

1. 本製品はPRTR法に該当しません。
2. 化学物質データシートは品質保証書、規格書ではありません。
3. 記載内容は通常の取扱いを前提としたものなので、これらを参考にして、自らの責任において、適切な安全対策・適切な処置をとられますよう、お願い致します。
4. 以上の情報につきましては必ずしも完全とは言えず、未知の危険がないとは言えません。